



10月30日防災訓練(撮影 土井)



杉森小学校校長
森田 康之

「自分たちで」できること ～2016年を振り返って～

この原稿を書いている12月9日(金)現在、今年2016年に、日本では震度5弱以上の地震が27回以上おきました。1月11日の青森県三八上北地方での地震が今年初めの大きな地震でした。その後、東北・北海道地区にも地震がおきました。そして、4月14日～19日に立て続けに熊本県・大分県を襲った地震。5月・7月には、茨城県沖で関東地方を揺らす地震もありました。夏になっても、熊本地方には繰り返し地震がおきました。9月末には沖縄県近海で、10月中旬には鳥取県中部で、震度6弱の地震もおきました。11月には、福島県沖で早朝に地震がありました。文字通り、北海道から沖縄県まで、地震がおきています。

こうやって書いてみると、「本当に日本は地震国なんだなあ」と思います。

『自助・共助・公助』と言われて久しいです。もちろん、一人一人の、家庭ごとの備えは欠かせないものですが、それ以上に自分たちでできること。「自分で」ではなく「自分たちで」できることを考え、実際に準備していくのが地区協議会です。

2017年も、すぎもり地区協議会が、防災をはじめ様々な分野で活躍されることを願っています。



10/30

第2回防災訓練を実施しました

第2回すぎもり地区協議会主催の防災訓練が10月30日(日)に行われました。当日は親子連れの姿もあり、約100の方がご参加くださいました。

前回大変好評をいただいた「煙体験」や「AED取扱い訓練」などの他に、今回初めて「ロープ救助システム体験」をNPO法人災害救難活動チームの方々に紹介していただきました。



煙体験



AED取扱い訓練

通報訓練



ロープ救助システム体験

ロープレスキューとは…アメリカのロープ救助法。例えば、崖から落ちた人を救助したり、高低差のある時の救助方法のひとつです。てこの原理を使い、小さい力で重いものを引き上げることができます。

アルファ米配布

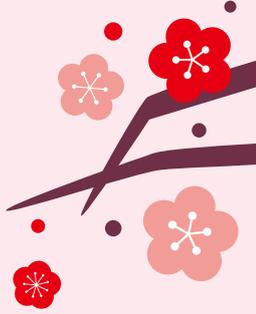


NPO法人災害救難活動
理事長 赤坂 勝之さん
(前列右から2番目)

「今回準備不足ということもあり、設置に時間がかかってしまいました。『訓練は実践のごとく、実践は訓練のごとく』『防災はコミュニケーションから』を合言葉にこれからも活動を続けていきます。」



2017年もよろしくお願いいたします



すぎもり地区協議会
会長 大野祐司

10月16日、杉森地域運動会において、初の試み、地区協議会主催競技「急げ お助け担架!」を行いました。4人で30キロの土のう袋を担架で運ぶという、防災関連の競技です。ご好評をいただき、今後も継続して実施していきたいと思います。

また、10月30日には、調布消防署国領出張所、調布市消防団第7分団のご協力を得て、防災訓練をおこないました。昨年に続き2回目となったこの防災訓練は、地域とのつながりを作ることが最大の目的であり、すぎもり地区協議会の今年度方針「地域の防災力強化に関する活動」と「顔の見える地域を目指し、広く地域課題の把握・検討を行う」にも沿った有意義なものであったと思います。さらに、自治会・管理組合からは、「次回から、自分たちの防災訓練と地区協議会主催の防災訓練をコラボさせたい」との意見も複数いただきました。今後も尚一層、地域とのつながりを重視しながら、取り組んでまいります。

最後に、すぎもり地区協議会は杉森小学校地区にお住まいの方全員が会員です。

今後もお気軽に活動にご参加いただければと思います。



12月20日
運営委員会の様子▶



▼地震から命を守る「7つの問いかけ」という資料をもとに講演する調布消防署国領出張所 津田所長



防火、防災講話



傷病者搬送訓練



初期消火訓練



調布市消防団 第7分団
佐々木 稷司さん
杉森地域は、防災意識がしっかりとっていて高い地域だと思う。これからも地域防災に協力していきたい。



杉森小学校PTA会長
本橋 永一さん
今回の防災訓練により、杉森地域の絆を深め、防災意識の活性化に繋がればと思います。

インタビュー

NPO法人わかばの会 わかば事業所施設長
廣田 知之さん(煙体験担当)
煙体験は本格的に架設できていて、良かった。自分の職場でも訓練をやってみたい。

島崎 真司さん(AED担当)
毎年の継続が大切。意識付けをすること、AED講習をしっかりと受けたいと思う。AEDを使える人が増えることを望みます。

敷内 智彦さん・幸子さん・里帆ちゃん・佐羽ちゃん
楽しかった。普段関わることのないことを家族で体験出来たことは良かった。特に煙体験は良かった。

消防車展示



平 美津雄さん&奥様
2回目の参加。自分が過去に参加した訓練にくらべるとごんまりしていたように感じた。通報訓練など、実際にはパニックになるので、大きい声を出すことをきちんとやっておくことが大切。



石川 すずなちゃんとお母さん
一通り体験しておもしろかった。通報訓練と煙体験一度はやっておくことを勧めたい。



杉森地域運動会プログラムに 地区協競技「急げ お助け担架！」が初登場！

10/16

10月16日(日)に行われた杉森地域運動会の新しいプログラムとして初登場した「急げ お助け担架！」。地域の方々にすぎもり地区協議会の活動を広く知っていただくため、運営委員みんなで考えた競技です。4人一組のリレー形式で行う競技は大人も子ども大興奮！入賞したチームには大野会長より賞品が手渡されました。(1位 キーホルダー型ペンライト、2位 非常食ビスコ缶、3位 パンの缶詰、4位～6位 保存食カレー、参加賞 防災手帳・地区協ボールペン)

杉森小学校開放委員会 高木委員長よりコメントをいただきました。

地域の皆様、地域運動会へのご協力ありがとうございました。大勢の方にご参加いただき、大変盛り上がりしました。

さて、今年は新しい競技として、『急げ お助け担架!』を実施させていただきました。この競技はすぎもり地区協議会からの要請を受け、地域の皆様に防災に関わる活動を楽しみながら、体験していただくために実施致しました。いざという時には、このように地域での助け合いに繋がればと思います。

また、2月には杉森小学校開放委員会主催のスポーツ大会として、フラバールバレーの大会を行います。ぜひ多くの皆様のご参加をお待ちしております。

杉森小学校開放委員会 委員長 高木 直



▲30kgの土嚢を担架で運びます

この地域の身近な相談窓口です。お気軽にご相談ください。

福祉や介護に関する相談等は…

調布市地域包括支援センター ときわぎ国領

高齢の方やそのご家族が、地域で安心して暮らせるよう、福祉や介護に関する様々な相談ができる総合相談窓口として、調布市から委託を受けている機関です。

担当地区は染地2、3丁目、国領町7、8丁目(8丁目1、4番地を除く)です。

お電話での相談や、状況に応じて職員がご自宅に訪問することもでき、適切なサービス等をご案内しております。

〈電話〉050-5540-0860 (9:00～18:00)



生活の相談、仲間づくりの相談等は…

調布市社会福祉協議会 市民活動支援センター

誰もがいきいきと安心して暮らしていくための生活の相談、趣味やボランティアを通した仲間づくりの相談の窓口として活動しています。

- 染地地域福祉センター内 ボランティア室
ボランティアコーディネーター 渡邊久美子
TEL 481-3790 火～土 9時～17時
- 調布市総合福祉センター内
地域福祉コーディネーター 川原 泉
TEL 481-7693 月～金 9時～17時

お知らせ

- H29年1月8日(日) **おもしろ遊び** 主催：子ども会(申し込み制) 会場：杉森小学校校庭
獅子舞が来てくれたり、お正月遊びのこま、お手玉、羽根つきなどで遊べます。地域のおじさん達がお餅つきを披露してくれます。つきたてのお餅は、もちろんお雑煮にさせていただきます。
- 2月5日(日) **耐寒マラソン** 主催：4地区健全育成推進委員会 会場：多摩川河川敷&土手
杉森地区、染地地区、第二地区、布田地区の4つの健全育成推進委員会が合同で行っている、耐寒マラソン。子どもは低学年～高学年まで、それぞれのコースを走ります。中学生以上、おとなの部もあり、3kmを走ります。
- 2月19日(日) **スポーツ大会** 主催：杉森小学校開放委員会 会場：杉森小学校
今まではインディアカ大会だったのですが、今回からフラバールバレーという種目になります。どなたでも楽しめる競技ですので、ふるってご参加下さい。